

Educational Program: Access Program

アクセスプログラム

美術館によく行く人も、
行きづらさを感じている人も

2026.1–2026.3



アクセスプログラムについて

横浜美術館では、障がいの有無にかかわらず、アートをもっと楽しみたい人たちが気軽に集うための〈アクセスプログラム〉を開催しています。

※申込不要のプログラムは、事情により内容や実施予定等を変更する場合があります。
ご来館前に最新情報をウェブサイトでご確認ください。

お申込は
ウェブサイトから
詳しくは裏面をご覧ください

コレクション展 ^{てん} | ギャラリートーク

事前申込不要

学芸員やエデュケーターが、英語や手話通訳者をまじえて展覧会や作品についてお話しします。参加ご希望の方は当日会場にお集まりください。

●英語通訳付きギャラリートーク

日程=1月24日(土) 11:00-12:00

●手話通訳付きギャラリートーク

日程=2月14日(土) 11:00-11:40

※ギャラリートークは、1月16日(金)、2月6日(金)も開催します(いずれも14:00-14:30。手話・英語通訳はありません)。

※4日間すべての日程で、テレコイル対応の補聴援助システム受信機の貸出をおこないます。ご利用希望の方は予約フォームよりご予約ください(先着10台)。

会場=コレクション展示室

※3F展示室ホワイエ(ギャラリー5前)集合。



手話通訳付きギャラリートーク 撮影:加藤甫

参加費=無料

※当日有効の観覧券が必要。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料(ミライロID可)。

テレコイル対応補聴援助システム
受信機予約フォーム



企画展 ^{きかくてん} | ことばで一緒にみる鑑賞会 ^{いつしょ かんしょうかい}

要事前申込

「いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年」展の会場内で、目の見える人・見えない人の2人のナビゲーターやエデュケーターとともに、言葉を通してグループで作品を鑑賞します。

●視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ スタッフ

2012年活動開始。全国の美術館や学校で目の見える人・見えない人が言葉を通して「みること」を考える鑑賞プログラムを企画運営している。

日程=2月21日(土)

①午前コース(10:30-12:30)

②午後コース(14:30-16:30)〈手話通訳あり〉

対象=鑑賞会に関心のあるすべての人、

視覚や聴覚に障がいのある人など

※手話通訳を希望する方は、②午後コースにお申し込みください。

定員=各回8名程度(応募多数の場合は抽選)

会場=企画展展示室

参加費=無料

※当日有効の観覧券が必要。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料(ミライロID可)。



申込締切=2月2日(月)

コレクション展てん | オンライン鑑賞会かんしょうかい

要事前申込

オンラインで横浜美術館コレクション展の作品を鑑賞します。住む場所や暮らし方の違ういろいろな人と、みんなで一緒に作品についてお話ししましょう。ご自身が心地よく感じる場所からご参加ください。

※Zoom(ウェブ会議ツール)を使用します。

※PC、接続環境やZoomの操作につきましては、各自でご準備をお願いします。

日程=3月14日(土) 10:30-12:00(途中休憩あり)

対象=鑑賞会に関心のあるすべての人、

美術館への来館が難しい人、発達障がいのある人、

精神障がいのある人など

定員=10名程度(応募多数の場合は抽選)

参加費=無料

申込締切=2月13日(金)



新しくなった美術館へようこそ！

横浜美術館は、2021年3月からの大規模改修工事を経て、2025年2月に全館オープンしました。リニューアルにあたり、私たちが目指したのは、誰もが自分らしく過ごせる場所。館内に入ると、天窓から光が差し込む開放的な吹き抜けのグランドギャラリーが広がります。さらに、エレベーターの新設や休憩スペースの充実など、より快適に過ごせる環境を整えました。「アクセスプログラム」では、言語や心身の状態にかかわらず、多くの人が美術を通じて多様な価値観や表現に出会える場を提供します。ぜひ、新しくなった横浜美術館へお越しください。



撮影：新津保建秀

●横浜美術館の展覧会

小学生以下、観覧無料

[企画展]

横浜美術館リニューアルオープン記念展

いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年

2025年12月6日(土)-2026年3月22日(日)

休館日=木曜日、2025年12月29日(日)-2026年1月3日(土)

地理的にも文化的にも近しい他者として、長い歴史を歩んできた日本と韓国。私たちにとって、韓国の文化はますます身近なものになっています。そんな隣の国のこと、もっと知ってみたいと思いませんか。この展覧会では、アートを通して、知られざる2国間の歩みをたどります。



田中功起《可傷的な歴史(ロードムービー)》
2018年個人蔵

[コレクション展]

子どもも、おとなも！

つくるわたしが、つくられる

2025年12月6日(土)-2026年3月22日(日)

休館日=木曜日、2025年12月29日(日)-2026年1月3日(土)

自分でだれなんだろう？その自分がものをつくるって、どういうことなのかな？この展覧会では、そんな疑問について考えるきっかけとなる作品をご紹介します。

子どもにとって楽しい、おとの入門編として楽しい、そして、子どもとおとながいっしょに見て楽しい、みんなのための展示です。

西野正将《New Generations》
2006年寄託作品 撮影：甲野善一郎



申込方法

ウェブサイトの各プログラムの
「申込フォーム」からお申し込みください。

◎応募者多数の場合は抽選となります。

◎申込フォームからのお申込が難しい方は、
電話、メールでお問合せください。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」(自動返信)をお送りします。
すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違があるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでのお申込の場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に原則「メール」でお知らせします。

※メールの受信が難しい方には、その他の方法でご連絡します。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

横浜美術館 アクセスプログラム

Tel. 045-221-0300 Email yma-kansho@yaf.or.jp

受付時間10:00~18:00 木曜日休館

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1



文化庁委託事業
「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」
主催：文化庁、横浜美術館 制作：横浜美術館

●アクセス

○みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい」駅〈3番出口〉から、

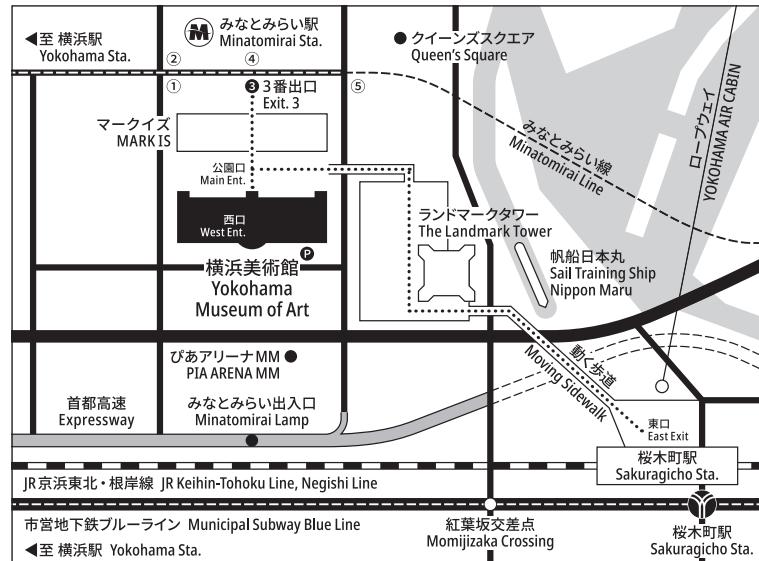
マークイズみなとみらい〈グランドガレリア〉経由徒歩3分

○JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から、
「動く歩道」を利用、徒歩10分

○駐車場（10:00~21:00、台数157台）最初の90分は500円、
以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引（最初の90分無料）があります。



●バリアフリー情報 →

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



Social Story（ソーシャルストーリー）

はじめて美術館に行きます。 横浜美術館

[当館ウェブサイトにPDFデータ掲載、館内（総合案内）にて配布]

主に発達障がいがある方とその家族向けた、美術館案内です。わかりやすい文章と絵や写真で、入館前から退館までの流れをストーリー形式で紹介しています。



車いす向けルートのアクセス情報や乳幼児対象サービスなど、バリアフリー設備に関する情報をご紹介しています。

親子で楽しむ横浜美術館

手話によるご案内

[日本語字幕、音声ガイド付き映像／約7分]

大人と子どものナビゲーターが、美術館の施設や楽しみ方を手話で分かりやすく紹介しています。YouTubeなどで公開中。



横浜美術館〈アクセスプログラム〉 メールニュース

今後のアクセスプログラムの開催情報を随时お知らせします。ご希望の方はQRコードから申込フォームにアクセスしてご登録ください。



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。



●横浜美術館ウェブサイト →
<https://yokohama.art.museum>

